



ご注意
ください!

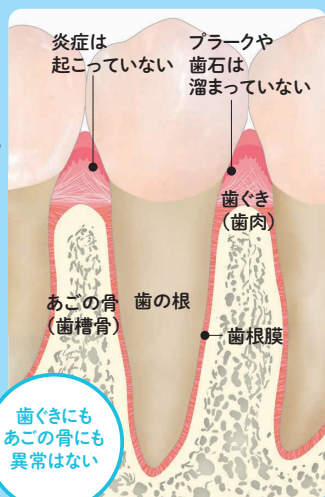
インプラントも“歯周病”になるんです!

インプラントと歯ぐきのあいだにプラークが溜まると、天然歯と同じように歯周病（インプラント周囲炎）になってしまいます。インプラント周囲炎の進行のしかたを、天然歯の歯周病と比べてご説明します。

天然歯

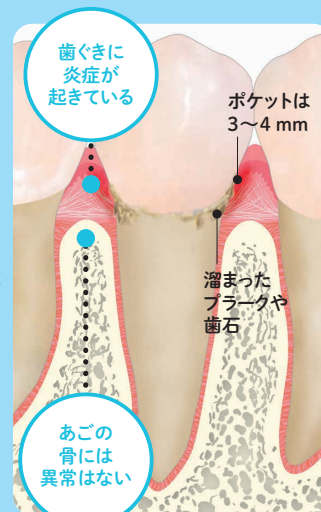
健全な状態

- プラーク（細菌のかたまり）や歯石は溜まっておらず、歯ぐきにも炎症が起きていない状態。
- 歯根膜により、歯の根とあごの骨が結合しています。歯根膜には噛む力を吸収・分散させる機能もあります。



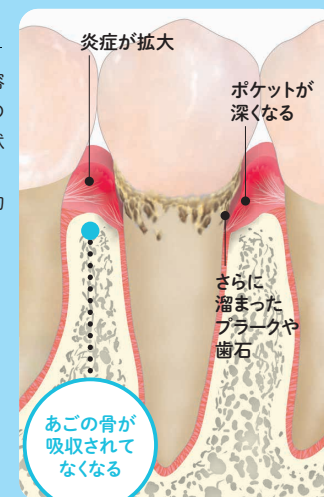
歯肉炎

- 歯の根元まわりに付着した細菌が、歯ぐき（歯肉）を炎症させて腫れや出血を起こしている状態。歯周病の初期段階で、影響は歯ぐきのみにとどまります。
- この段階なら、セルフケアの見直しや歯科の介入により、健全な状態に戻せます。



歯周炎

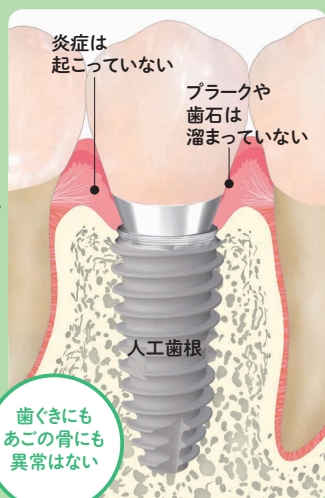
- 炎症が拡大し、あごの骨が溶けてなくなっていく（からだの防御反応で吸収されていく）状態。いわゆる歯周病。
- 失われたあごの骨は、基本的には元に戻りません。



インプラント

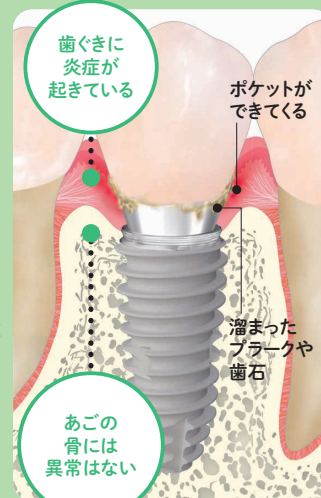
健全な状態

- プラークや歯石は溜まっておらず、歯ぐきにも炎症が起きていない状態。
- インプラントの人工歯根が、あごの骨と直接結合しています。歯根膜は存在しないため、噛んだときに過剰な力がかかると力の逃げ場がありません。



インプラント周囲粘膜炎

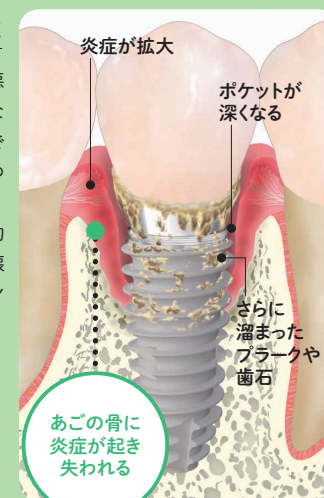
- インプラントに付着した細菌が、周囲の粘膜（歯肉）を炎症させて腫れや出血を起こしている状態。インプラント周囲炎の初期段階で、影響は歯ぐきのみにとどまります。
- この段階なら、セルフケアの見直しや歯科の介入により、健全な状態に戻せます。



インプラント周囲炎

- インプラント周囲粘膜炎が悪化し、あごの骨が溶けてなくなっていく（からだの防御反応で吸収されていく）状態。いわゆる「インプラントの歯周病」。
- 失われたあごの骨は、基本的には元に戻りません。骨の破壊が進むと、やがてはインプラントが抜けてしまいます。

抜けてしまったインプラント



痛みが
なくても。
違和感が
なくても。

定期的に通おう! インプラントのメンテナンス

インプラントを入れたあとは、歯科での定期的なメンテナンスが欠かせません。
でも、「痛くないから」「違和感がないから」とだんだん通わなくなってしまう人が意外と多いのです。

メンテナンスでは何をする?

- ◆メンテナンスは、いわばインプラントの健康診断。
インプラントや、そのまわりの歯ぐきやあごの
骨の状態を検査します。
- ◆くわえて、プロの手によるインプラントの
徹底的なクリーニングや、患者さんのセルフケアが
適切になされているかのチェックも行います。



インプラントの検査

1 出血を診る

インプラントと歯ぐきのあいだに、プローブという細長い器具を挿し込みます。
このとき出血したなら、細菌が歯ぐきに炎症を起こしている証拠です。



器具を差し込みます。

ジワッと血が! よくないサインです。

2 ポケットの深さを測る

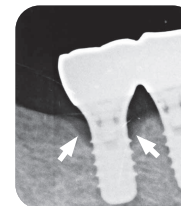
先ほどの器具には目盛りがついているので、挿し込んだ際に深さも測定します。
最初にインプラントを入れたときのポケットの深さから変動があるかを調べます。

3 膿が出ていないか診る

器具を挿し込んだときに歯ぐきから膿が出てこないかを診ます。歯ぐきの炎症が
進むと、インプラントと歯ぐきのポケットが深くなり、膿が出るようになります。

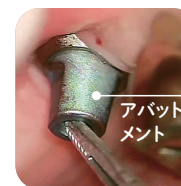
4 レントゲンを撮る

レントゲンを撮影して、あごの骨の状態を診ます。→の写真は初診で来られた患者さん。インプラント周囲炎になっていて、インプラントのまわりのあごの骨がなくなっています。



5 インプラントの動揺を診る

上部構造を外してアバットメントを触診します。あごの骨に炎症などの異常が起きている場合、揺れて動きます。



6 噛み合わせのチェック

噛んだときに違和感はないか、過剰な力が偏ってかかっていないか、歯ぎしりの影響はないかなどをチェックします。

* そのほか、しっかりセルフケアができていないか、インプラントのパーツにゆるみがないかなども確認します。

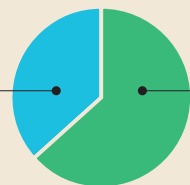
! CHECK!

4割弱の人がメンテナンスを受けていない?

30~70歳代のインプラント治療経験者500人に、「定期的なメンテナンスを受けているか」を国民生活センターがアンケート調査しました。すると、「受けていない」と回答した人は500人中183人(36.6%)。理由としては、「異常や違和感がないから」がいちばんでした(63人)。

インプラントのメンテナンスを受けているか

受けていない
183人
(36.6%)



受けている
317人
(63.4%)

(国民生活センター「あなたの歯科インプラントは大丈夫ですか」2019年より)

インプラントのクリーニング



上部構造やそのまわりの歯ぐきの溝も含め、プロの手で徹底的にクリーニングをします。

監修：大阪府・なかもみ歯科医院院長／大阪歯科大学口腔インプラント学講座臨床教授 中島 康